

# 感染症情報

11月25日～12月1日(第48週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。  
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★★★	↓	減少傾向です
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★	↑	最近ありました
⑪	手足口病	★★	→	まれにみられます
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★		みられなくなりました
⑰	インフルエンザ	★★★★	↑↑	急激に増加傾向です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↓	まれにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★	↑	1人ありました
⑳	その他のかぜ症候群	★★★★	→	咳が長引きます

11月末から「インフルエンザA型」が急激に増加傾向です。今の状況からすると年末から正月にかけて大きな流行が続くと予想されます。高熱が出た場合は半日以上時間をおいて病院を受診してください。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」も今後の流行が予想されますから注意が必要です。

「マイコプラズマ感染症」の大流行は少しづつ減少傾向です。発熱と長引く咳が特徴的ですが現在抗原キットが不足しており検査が難しい状況です。同じような症状の別のウイルス感染症もありそうですがマイコに効く抗生物質を処方することが多くなっています。

今後は「RSウイルス感染症」に代わって「ヒトメタニューモウイルス感染症」が増加してくる可能性があります。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある